



学校だより

平成30年 1月10日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 山下 浩
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
943-0802・0803

年が明けました ～ハーモニー～

学校長 山下 浩

平成29年（2017年）が去り、平成30年（2018年）が到来しました。新年、明けましておめでとうございます。昨年中は、温かなご支援をいただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年が戌年。犬にまつわる格言はたくさんあります。有名なのは「犬も歩けば棒にあたる。」という格言です。

意味が二通りあり、

- ① 何かをしようとすれば、何かと災難に遭うことも多いというたとえ。
- ② 出歩けば思わぬ幸運に出会うことのたとえ。

を表しています。今年も、干支にあやかり①②の両方のいいところ取りで、災害に対する準備・訓練もしっかり行いながら、体験的な教育活動も推進し、子どもたちの幸せの実現を追求していく学校経営に努めて参りたいと思います。



日本のお正月と言えば、こたつにミカンと……そう、箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）が挙げられます。今年も1月2日、3日の二日間にわたって大学20校の熱のこもった襷リレーが繰り広げられました。毎年、恒例の今やお正月の風物詩といっても過言ではない箱根大学駅伝ですが、歴史と伝統は長く、今年で94回目を迎えました。往路の視聴率が過去最高に昇ったところからも、世間の関心度が非常に高いことがうかがわれます。結果は、青山学院大学が見事に4連覇を成し遂げました。

原晋監督は、「今年は大太鼓がないので、10区間全体で調和をとっていきたい。」と話されていましたが、**ハーモニー**はぴったり合い、史上6校目の総合4連覇を達成しました。監督の「**ハーモニ**

一大作戦」が功を奏したと言えます。予てから力はあるのに、好不調の波やミスに引っ張られて勝ちきれなかった出雲・全日本駅伝を振り返って、原監督は「デコボコの駅伝」と表現しました。それが、今回の箱根では一人（一つのパート）がミスしても、他の一人（パート）がしっかりとフォローしていました。大太鼓がなくても、不協和音が生じて、補い合う**調和=ハーモニー**が、青学大には確かにあったと言えます。そして、一人ひとりの個性が生かされ、選手自身が走ることを楽しみながら、選手主体の駅伝ができていたのが何よりも見ていてすがすがしく感動させられました。

学校は、平成29年度の1月から3月までの3か月を残しています。一年間の四分の一になります。駅伝でいうと、8区あたりでしょうか。学年のまとめと進級・卒業にむけての準備をしっかり行いながら年度末のゴールに向けて走り続けたいと思います。

一人ひとりに寄り添いながら、一人ひとりの違いを認め合いながら、学級・学年そして学校として**調和=ハーモニー**を保ちつつ走り続けたいと思います。

保護者・地域の皆様方におかれましては、引き続きご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。